小規模林業だより

第13号

お問い合わせ

令和3年 5月発刊

高知県小規模林業推進協議会事務局(高知県森づくり推進課) ホームページURL https://kochi-shoukiborin.jp/

〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-52

TEL:088-821-4571 FAX:088-821-4576



目 次

- 1.令和2年度高知県小規模林業推 進協議会特別講座、通常総会及 び第2回協議会 ······p.1
- 2. ワークスタイル ……p.2~3
- 3. 支援制度の紹介 ······p.3~4
- 4. LINE公式アカウント開設・ ホームページの紹介 ······p.4

1. 令和2年度高知県小規模林業推進協議会・通常総会・第2回協議会

- ●日 時/令和3年3月17日13時30分から15時30分
- ●場 所/高知県立青少年の家 大集会室

中嶋会長あいさつ

一時期、コロナの影響で需要が動かないということで、材価もちょっと下がっていましたが、最近ちょっと良くなってる。特にヒノキの価格が戻ってきたということは言われています。そういうことで、コロナに負けずに頑張っていただきたいと思っています。



今日は挨拶代わりに、森林経営の話をさせていただこうと思います。

今から話しをする人は、もう10年ぐらい前から、補助金をもらってない、完全に自立してる人です。家族は2世帯、おやじさんと息子さん世帯、両方で林業をやってるんですが、完全に林業だけでこの2世帯が飯食ってます。補助金ゼロです。

補助金ゼロになるきっかけが、平成23年に森林経営計画制度が始まったことです。そのときに、制度にはまらなくなり、別に補助金なくても良いなみたいな話になって。

補助金もらわない状態で、ちょうど10年になってきました。なぜ、補助金ゼロになれてるかということです。キーポイントが2つあります。

一つ目は、道が入ってること。壊れない道を入れて、使い続けられてる状況を作ったことが、補助金が要らない理由の一つ目です。新しく作業道をつけて、その補助金をもらう必要がないという。

もう一つは、多間伐施業を行っていること。間伐を繰り返す、 多間伐施業。長伐期多間伐施業という言い方もありますが、あれ は多間伐と言ったほうがいいんじゃないかという気がします。

50年皆伐再造林、なぜ不採算になるのか、1つはまだ質が悪



返される。それから、伐採に使用する機械も高コストになってしまうというようなことがあります。

多間伐施業は、本数を徐々に徐々に減らすんです。間伐を行う10年の間、木は成長しています。10年で大体25%ぐらい成長するそうです。だから、2割以下の間伐で止めておく。そうすると、次の間伐のときに蓄積が増えているわけです。

今、未整備林で道も入ってない、入ったら真っ暗いという山は、本数が多いということですから、多間伐施業はやりやすい。 ぜひこれをやっていただきたいわけです。

あと、重要なことが作業道の伐開幅です。良い作業道を入れた山は、作業道の下から上見ると林冠が閉じているんです。こうすると、雨風光が入ってこないです。これが壊れない要因なんですよ。それから、森を劣化させない要因です。

始めたばかりの人はちょっとハードル高いかもしれませんが、 ここを目指してほしい。どうすればこういう施業ができるか考

えて、頑張ってもらえれば、非常に高知の森はいい森になって、林業も発展し、従事者も増える。

ということで、 以上でございま す。ありがとうご ざいました。



その他活動事例については、 以下のURL内に掲載中です。▶▶▶▶▶▶ http://kochi-shoukiborin.jp/info/dtl.php?ID=529



2. ワークスタイル

里山文化の継承/クラウドファンディング

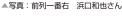
お寺の住職が 里山からサンゴの海を救う

「山の大切さは海が教えてくれた。 地域と歩むキャンプ場を作りたい」

土佐清水市 土佐清水LANDSCAPE /浜口 和也さん







- ●土佐清水 誓願寺 ご住職
- ●サンゴと森の救援隊代表
- 2012 年まで地元の海でスキューバダイビングショップを運営
- 2013年より本格的に林業を始め、寺院が所有する放置山林を自伐型林業を手法と して整備・活用、これまでも植樹や木工品づくりなどの啓発イベントを開催してきた。
- 2018 年に「土佐清水 LANDSCAPE」スタート
- ●「里山」を体験できるキャンプ場を開設するためのクラウドファンディングを行い 成功させる。





クラウドファンディング:

「山の大切さは海が教えてくれた。地域と歩むキャンプ場を作りたい」 https://readyfor.jp/projects/tosashimizu-camp

背景:慣れ親しんだサンゴの海の危機

地元の海でダイビングショップを運営していた頃、土佐清水の宝、サンゴの海が 危機に瀕する出来事があった。

「2001年、高知県西部を集中豪雨が襲いました。山があちこちで崩れ、海は茶色に 汚れていました。山からの土砂や流木が海に流れ、ものすごく濁っていました。 泥はサンゴに積もり、流木はサンゴを壊し、海中の景観が損なわれ、魚も居なく なっていました。かつて色鮮やかだった海がモノトーンの世界に変わりました。 それがきっかけとなって、私は海から山へと意識が移りました。」

その頃、現在の小規模林業推進協議会長:中嶋健造さんの講演を聞き、持続可能な 山を実現する自伐型林業に出会うことができた。

「海をきれいにするためには自分たちで地域の山を手入れするこ とが必要だよ」と習い、サンゴと森の救援隊を設立。



この時はまだ林業を副業にできる とは思っておらず、お寺の山(50ha 内スギ・ヒノキは5ha)で間伐か らスタート、基本ボランティアで 施行し燃料代も自分持ち。

「これはボランティアでは続かんな と思った。」

それでも再びサンゴが広がる綺麗な海を復活させる為にはどうしたらよいのか。 山を良くすればサンゴにも良くなる、サンゴを守る活動と並行して山での施行を 増やしていく。

山での稼働が増え、自伐型林業を勉強して行く中で山の魅力を感じ、

「これは土佐清水の里山で展開できるのでは?」と手応えを感じて いた。

2011年の東日本大震災や身の回りの出来事を境に海から山にシフトしていく、川 や海の環境保全を意識し、土砂災害から里を守るための自伐型林業の可能性を感 じ、これは土佐清水の里山で展開できるのではと考えた。

当時はまだ材の搬出もできなかったが、「高知山の日事業」で作業道を作る講習会 に参加した

「道だぞ、道をつけると山が変わるぞ(中嶋健造さん)」

自伐型林業を続けるにはどうしたらいいのか、いろいろなフォーラムに参加し学 びを深めていったが、土佐清水は高知県内の他の自治体に比べ林業に関する支援 が少なく、全て自分たちで切り開いて行くしかなかった。

それでも2013年からは多面的交付金(森林・山村多面的機能発揮対策交付金)を利 用する事ができ、ハード・ソフトの両面で活用し活動を広げていく事ができた。

3. 支援制度の紹介

機械のレンタルを支援します。

機械のレンタル

作業道を作設するためのバックホウや、林内で間伐した丸太を 運ぶための林内作業車などの林業機械のレンタルに対して支援 をします。

▶レンタル料等を補助します。

補助対象経費	補助率等	補助要件	
レンタル及び回送 に要する経費 (消費税を除く)	2分の1以内 レンタル期間は3か月以内	バックホウ (0.25㎡規 格相当以下)、林内作 業車、ダンプトラック 等、木材の集材・運搬 に必要な機械	
		1-10 20 112 112	

上記の お問合せ

高知県木材増産推進課 TEL.088-821-4876

安全装備の導入を支援します。

安全装備

労働災害を防止するために着用する安全装備等の導入に対して支援 をします。

▶安全装備購入費等を補助します。

補助対象経費	補助率等	補助対象品
安全装備等の購入費 ただし、指定された 3つの特別教育をす べて受講した者	ただし、1人当たり	保安帽、防振手袋、チェーンソー 防護服など

上記の お問合せ 林材業労働災害防止協会高知県支部 TEL.088-856-5721

里山で自伐型林業の実践「土佐清水LANDSCAPE」の開設

自伐型林業を実践し海域の保全と地域の様々な産業をサポート する「土佐清水LANDSCAPE」の開設

2018年に里山の再生と中山間地域の再興を目的に地域の様々な産業のサポートを行う「土佐清水LANDSCAPE」を開設。崩さない林内作業道を開設し、適切な間伐を行い、受け継がれる自伐型林業の再興を使命に活動を行っている。

土佐清水LANDSCAPEでは、里山でとれたシイ、カシ、ナラ、ヤブツバキ、ヤブニッケイなどの広葉樹から薪を生産し、ふるさと納税の返礼品として販売している。その反響は大きく販売開始から直ぐにニーズは大きく増え、市へのふるさと納税額も急速に増える反面大きな課題に直面する。

ニーズは多いのに自伐林家が少なく、担い手不足の課題

「里山の再生をしていく担い手の不足が大きな課題です。

薪のある生活、焚き火を囲む生活は魅力的で、ここ土佐清水に移住してきた方達も、皆一様に「焚き火がしたい」「火を囲む生活に憧れがある」と言います。しかし必要となる薪を作るための、清水の里山を手入れできる自伐林家が圧倒的に少ないのです。広葉樹の薪はスギ・ヒノキより手間はかかり、一度に搬出できる立米

数も少ない。でもうまくやれば植林もしなくていい、再生可能エネルギーのさいたるもの。担い手不足で手入れが行き届かない山の広葉樹は大径木化しすぎて炭にもできない。」



クラウドファンディングにかけた思いとその成功

「里山」を体験できるコミュニティスペース・キャンプ場「土佐清水LANDSCAPE」コロナで世界が一変した2020年5月、林業の研修・コミュニティスペースを作りたい! 災害時には避難所として機能する多目的な「里山」を復活させたい! との思いからクラウドファンディングをスタート。

「今日、山を仕事とする環境や人は全国的に少なく、私の住む土佐清水市も例外ではありませんでした。「アンダーユース」という言葉が使われるように、どんどん人手が不足することは避けられません。

それでも私は山の手入れを勉強する中で、自分たちで山を管理し、一度に全部の 木を伐らず、少しずつ伐りながら収入を得て、しかも川や海の環境保全を意識し、 土砂災害から里を守るためにも一役を担える「自伐型林業」に出会い、山の手入れ をすることに誇りを持っています。より多くの人に自伐型林業を知ってもらい、 実践していただきたいという気持ちがあります。そこで、「自伐型林業」を意識できる「キャンプ場」を開き、山に親しみながら様々な視点が持てる場を作りたいと 思い、今回のプロジェクトを立ち上げました。山が元気になれば、海・川・里すべてが元気になります。」

「キャンプ場から自伐型林業の魅力を啓発したい

そして、1人でも多くの山仕事の担い手を増やしたい」

2020年6月、目標金額の約2倍を調達し、クラウドファンディングを成功させることができた。



大事なことはコミュニティスペースであること。

今「土佐清水LANDSCAPE」には、土佐清水に移住された方を中心としたコミュニティができつつある。

新たに創るキャンプ場を「土佐清水Relax」に命名



キャンプ場の整備は浜口さんを中心に、地元の仲間、移住者の方々と一緒に進めている。

木の伐倒、キャンプ場の整地、竹 とビニールハウスの資材を利用し た休憩スペース。

この整備を進め「土佐清水Relax」は3つの機能を備える予定だ。

- キャンプ場として里山と澄んだ小川に囲まれたキャンプ場
- ●林業研修の場として

土佐清水の里山でこれから自伐型林業をやりたい方が林業体験をできる場

災害時の避難場所として

被災時には津波の恐れのない避難場所として活用、普段はキャンプ場として機能するため、最低限必要なライフラインを備えた場

思いとノウハウの共有

使われなくなった炭窯の跡を利用し沢水を引き、その澄んだお水でコーヒーを淹れる。 大勢の仲間の家族と焚き火を囲み、日が暮れれば帰路に着く。

まだまだやること出来ることは多く、キャンプ場としての整備もこれから。 それでも、ここ「土佐清水Relax」を創る過程で仲間が増え、林業という枠を超え たコミュニティがスタートしている。

里山で自伐型林業を行ってきたノウハウ、自然に囲まれた土佐清水での暮らしのノウハウ、この素晴らしい里山の自然とサンゴの海を次世代に繋いでいく思いを移住してきた方、Uターン、今から山に関わる人たちに共有したかった。その思いが少しづつ芽吹き始めている。

「田舎だからこそ、自伐型林業だからこそ、林業を副業とした生き方もできると 思っています。

サーフィンしてから山に入ったって良い、薪で天然酵母のパンを焼く、農業も漁業も大工も林業と一緒にやったっていい。

林業は時間的な縛りが無く林業+αがしやすい、そんなところも魅力でありそんな暮らしのノウハウを伝えて行きたい。

「土佐清水Relax」は営利じゃなくきっかけの場づくりの為に作りました。

林業に興味のある方、移住者、地元、いろんな方が関わりコミュニティに溶け込んでもらって、海を守るための山づくり、そういった人がここから生まれて次世代に繋げていければと思っています。」

林業の担い手確保のために支援します。

間伐

自分で、自分の山の手入れをする場合

対象林齢	11~60年生	31~60年生	
事業名	公益林保全整備事業 (保育間伐)	業 森林整備支援事業 (搬出間伐)	
事業規模	O.1ha以上/施行地		
伐採率	30%	30%	20%
補助条件 など	保安林又は市町村森林整備計画 に規定する公益的機能が高い森 林で集約化が困難な人工林	国庫補助事業の対象とならない 人工林	
補助金額	補助金額 定額 80,000円/ha		定額 122,000円/ha

作業道

間伐材の搬出等を行うために必要な作業道を整備する場合

補助事業内容	補助金額		
作業道路網の種類	路面整備	開設	
作業道1.5m(幅員2.0m未満)	1mあたり100円	1mあたり500円	
作業道2.0m(幅員2.5m未満)	1mあたり130円	1mあたり800円	
作業道2.5m(幅員3.0m未満)	1mあたり150円	1mあたり1,000円	
作業道3.0m(幅員3.0m以上)	1mあたり200円	1mあたり1,500円	

上記のお問合せ

高知県木材増産推進課

TEL.088-821-4602

現場での技術指導や安全対策を支援します。

アドバイザー派遣

小規模林業を実践する方からの要請に応じ、作業道の開設、間伐木の 選定、搬出間伐等の現場指導ができる林業実践アドバイザーを派遣し ます。派遣日数は最大3日間まで、会員の方の自己負担はありません。

▶派遣アドバイザーに支払う報償費を補助します。

補助対象経費	補助率等	補助要件
①アドバイザー への報償費②アドバイザー への旅費	定額。 ただし、報償費は1日当り2万4千円、宿泊費は 7千3百円、旅費は9千円を上限とします。 (※派遣日数は1人当たり最大3日間まで。1回/年限り。) (※通算で3年間しか利用できないものとします。)	アドバイザー 派遣を申請する 者が会員である こと

先進地現地研修

小規模林業を実践する方からの要請に応じ、作業道の開設、間伐木 の選定、搬出間伐等の現場指導ができる林業実践アドバイザーの事 業地を訪問する事業です。

▶現地アドバイザーに支払う報償費を補助します。

補助対象経費	補助率等	補助要件
アドバイザー への報償費	定額 ただし、報償費は1日当たり2万4千円を上限とします。 (※派遣日数は1人当たり最大3日間まで。1回/年限り。) (※通算で3年間しか利用できないものとします。)	先進地現地研修 申請者が会員で あること

現場での安全対策を支援します。

保険

作業中の思いがけない事故による怪我への補償に備えて、傷害総合 保険への加入に対して、助成をします。

▶保険加入に要する掛金を補助します。

補助対象経費	補助率等	補助要件	
傷害総合保険加入 に要する掛金	2分の1以内 ただし、掛金は1人当た り2万7千円以内 ※補助額1万3千5百円が 上限	傷害保険加入者が会員で あること	

医 痦

労働安全衛生の向上を目的に、小規模林業を実践する方が、蜂刺され対策として医療機関に支払う医療費に対して、助成をします。

▶蜂刺され対策として医療機関に支払う経費を補助します

補助対象組	圣費	補助率等	補助要件
蜂刺され対策とし 医療機関に支払う。 ※経費対象は、蜂アレル 処方登録受託医師診察料 指導料、自動注射器購入 し救急用具、スズメバチ	経費 ギー血液検査、 、自己注射管理 費、毒液吸い出	2分の1以内 ※自動注射器購入について は1人1個までとし、購入費 の補助金の額は5千円を上限	購入者が会員であること

上記のお問合せ

林材業労働災害防止協会高知県支部

TEL.088-856-5721

4. 専用LINEアカウントの開設・ホームページの紹介

小規模林業推進協議会の LINE公式アカウント ができました!

支援制度のご案内や自伐林家の取材記事などを配信しています。

QR コードからぜひ友達追加をしてみてください!







[URL] https://kochi-shoukiborin.jp/

会員の活動事例や支援制度の紹介、協議会の開催など様々な情報

を掲載していきます。

ぜひ、御覧ください。

小規模林業











※タップ後の遷移先は「http://kochi-shoukiborin.jp/lp/」です。

写真が**動く!?**を 体験しよう!

無料アプリ「COCOAR」を ダウンロードして動画を見よう!



「COCOAR」 ダウンロード

*紙面から外すとフル画面に変わります。
*動画を押すと一時停止~再生が可能です。



①アプリを起動



次のスキャンへ